



学校通信

夕陽丘

第28号



## 【校長挨拶】

## 心強い応援団



校長 杉山友重

第64期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

夕陽丘高校の3年間はどうか。楽しいこと、辛いことなどさまざまな事があったと思いますが、それら全てを夕陽丘の宝物としていつまでも大切にしてほしいと願っています。宝物は皆さんの3年間の努力のたまものではありますが、皆さんを支えてくれた心強い応援団がいたことも忘れないでほしいと思います。

1、2年生にも知っておいてほしいのですが、本校には皆さんの活動をいろいろな面でサポートしてくれる団体があります。夕陽丘高校PTAが代表的なものですが、他に夕援会、清香会、紫陽会、夕交会、今昔会などがあります。普段関わる機会がありませんのでなじみがないと思いますが、それぞれの団体を是非知ってほしいのでここに紹介します。

PTAには各種学校行事の援助、学校の広報活動そして図書館や進路指導用資料の整備などさまざまな形で支援していただいています。会員である保護者の皆様から心温まる激励をいつもいただいています。特に体育祭や文化祭では皆さんと一緒にフェスティバルが盛り上がるように協力していただいています。

夕援会(ゆうえんかい)も保護者の皆様からなる組織で、部活動に必要な物品の購入や遠征費の補助等、主に部活動の振興に支援していただいています。

清香会(せいこうかい)は本校の同窓会組織で、皆さんが卒業後に会員となる団体です。物心両面において絶大なる支援をいただいています。卒業生の方々の母校に対する熱い思いが一世を超えて本校を支えていただいています。

紫陽会(しょうかい)は本校音楽科の活動を支援していただく後援会組織で、定期演奏会他各種演奏会の支援や施設設備の充実にご協力いただいています。

夕交会(ゆうこうかい)は本校が進める国際交流教育の振興に積極的に支援していただいております。上の4つの団体からなる組織です。ニュージーランド語学研修やウィーン音楽研修旅行そして海外の学校との交流等が実施できるのも夕交会の大きなサポートがあるからです。

今昔会(こんじゃくかい)は卒業生の保護者の皆様からなる組織で、さまざまな形で支援いただいております。

第64期生の皆さん、これからは皆さんも心強い応援団の一員として、母校夕陽丘高校のためにエールを送りつづけてくれることを強く願っています。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

## 【第三学年】

# みんながって みんないい

学年主任 槇野 理啓

64期生のみなさん、卒業おめでとうございます。あっという間の3年間でしたね。勉強、部活、クラス、行事…、楽しいことも苦しいことも、いっぱいあったでしょう。でも、もうそれも終わり。これからはそれぞれ新たな道を進んでいくことになります。

夕陽丘の生徒というと、よく遊び、よく学び、優しくて、穏やかで、集中力があり、結束力があり、楽天的で、積極的で…。たしかに、「夕陽丘らしさ」というものはあるでしょう。でも、みんながってみんないい。人生についての考え方も、実際の生きる道も、それぞれちがうでしょう。それぞれちがうけれども、自分の人生は自分で歩む。人にとやかく言われる必要もないし、責任をとるのはけっきょく自分です。

みんながってみんないい — 金子みすずの詩の一節として知られますが、いろいろ議論があるようです。現代において、個性を否定する主張はなりたちません。とはいうものの、「自分勝手にいいのか」「人とちがうことを自慢するな」「これでは社会が成り立たない」…。人それぞれであることを認めたくない主張が、すくなくからずあるようです。だからこそ、戦前の詩人のつぶやきが今日的な問題意識ともなるのでしょう。

みんながってみんないい — それは自分勝手に生きることでもないし、他人との協調を否定するものでもありません。でも、わざわざ「みんながってみんないい」と主張しなければならぬくらい、自分らしく生きることが困難だし、全体に合わせることを強要されがちな社会になっているということではないでしょうか。何かといえば、競争、競争。勝つのも負けるのも自己責任。それでいながら、勝手なことをするな…

みんながってみんないい — 私は、そのとおりだと思っています。与えられた枠のなかで、つくられた「理想像」に合わせて、感性をおさえ理性をにぶらせ、まわりに気を使いながら、ただ日々を過ごす。そんな必要はありません。失敗もし、挫折も味わい、争いもしながら、人間としての誇りを大切に、ひとりひとりの個性を輝かせ、そしてみんなとともに歩む。人間は、そういうことのできる存在なのです。

可能性は無限です。それを現実に変えるのは、科学です。科学とは、決して科学技術や知識だけをさすものではありません。その方法が大事なのです。ひとりひとりが自分で考え自分で行動する、そしてみんなでいっしょに — これが科学です。夕陽丘で培った友情と活力をおおいに活かし、それぞれの人生をとおして、新しい時代をきりひらいていかれることを願っています。



## 【第二学年】

## 一途一心

学年主任 草間 義彦

65期、2年生での学年目標は「進路実現への扉を開き、高校生活の充実を図るため、自ら学ぶ力と楽しむ力を培う」でした。体育祭、文化祭そして修学旅行などの様々な行事で「楽しむ力」は発揮できましたか。「楽しむ力」とは、好きな事だけを「楽しむ力」ではなく、どんな事に対しても「楽しみ」を見つけ、その準備段階から成功へ向けて考え、行動できる力なのです。3年生では、この力を受験へ向けて欲しいと思います。新たな進路先での自分の姿をイメージし、それを目標にしっかりとした準備に取り組んで下さい。

もう一つの「ガク力」への取り組みはどうでしたか？「ほとんど自主学習をしない」という割合は、4月のアンケートでは43.4%でした、8月は37.7%そして12月には27.8%と減り、自主学習時間は伸びてきています。修学旅行後、受験へのシフトチェンジということで、進路にかかわる講演会を2度、2年生向けのセンター説明会、卒業生から話を聞くなどの取り組みをしました。これらの取り組みを、どのように受け止めてくれましたか。進路へ向けての気持ちも充実してきたことでしょうか。

さて、「風かんじる65期生」もいよいよ最終学年です。表題にある「一途一心」とは、一つの事に、ひたすら、ひたむきに努力することを意味します。コツコツと努力を続けることができれば、必ず思いは成就できるということです。3年生での一年間は、様々な雑念を振り払い、進路へ向けて集中する一年にして下さい。

また、受験は個人戦ですが、その過程においては、学年やクラスの雰囲気重要です。受験へ向けての良い雰囲気が、一人ではできないことを可能にしてくれます。65期生諸君、来年3月、全員が笑顔で卒業できるよう、団体戦で乗り切ろう。

## 【第一学年】

## 無形の力

学年主任 岩元 健

少し前の話になりますが、今年1月の全国高校ラグビー選手権において、史上5校目となる3連覇を成し遂げた東福岡高校。その強さは、無形の強さ、といわれました。勝負事には、どんな競技であれ定石・セオリーといわれるものがあります。攻撃の方法とか防御のパターンなど。しかし、東福岡の場合は、パターンに囚われず状況に応じて、選手が自ら考え行動できる無形の中に強さがあったようです。ではどのようにして、そんなことができるようになるのでしょうか。

これまでの常識が常識でなくなることの多い昨今、ラグビーに限らず、無形の強さというのは、様々なところで必要となるのではないのでしょうか。東福岡ラグビー部の部室には、『やる気の原点は目標にあり、楽しみの原点はプロセスにあり、喜びの原点は結果にある』と書かれてあります。これが一つのヒントではないかと思います。まずは目標を定めてやる気を出す。そして、そのやる気をもって目標達成に向けて、楽しんで取り組んでいく。この楽しんで取り組むところがポイントです。楽しむといっても単にエンジョイするという意味ではなく、その物事に全身全霊を打ち込める能力が備わっていないといけません。また、それを発揮できる場があるということや、まわりに支えてもらっているおかげで今これができるんだ、という感謝の気持ちを持ってないといけません。そんな力を、先ず基本的なことをコツコツ積み上げていく努力によって養っていく必要がある。そうして目標に向かって全力で楽しむようになる。そういう過程を楽しむようになる、自然と形に囚われずに自分で考えて行動できる力がついてくる。しかたなくやるのと楽しみながらするのでは、当然その効果に差ができる。楽しみながらすることで様々な工夫ができる。あれこれ考えることができる。チャンスを見逃さなくなる。その結果、喜びが生まれ、また新たなことにチャレンジする勇気が生まれてくる。そうやって自分の行動が昇華していくにつれて、自らの存在価値が感じられ、生き甲斐へと繋がっていく。

さあ、これから、何か興味のあること、こんなことをやりたいなあと思うこと、好きなことから、あきらめずに努力することから始めよう。そして、無形の力を養おう。

## 【進路指導部より】

### \* 1年 「進路体験セミナー」

1年生では勤労観・職業観を育成することを目的に「進路体験セミナー」を実施しています。実際にその道のプロとして活躍されている専門学校の先生方から、その職業の説明や、何故その道に入ったのか、入ってからの苦労や、やりがいなどをお話していただきました。合わせて体験学習も行いました。今年は11月11日の実力考査のあと、自分の興味や関心に合わせて、15の分野に分かれて専門学校を訪問しました。やはり一線で活躍されているプロの方の言葉は説得力があり、どの分野でも生徒は熱心に耳を傾けていました。振り返りのアンケートでは「普段学校では教えてもらえないようなものだったのでとても勉強になった」「仕事をするにはどの分野でもコミュニケーションスキルが必要だとわかった」「この仕事の大変さ、楽しさなど普段聞けないことが聞けて良かった」と感想が寄せられました。

### \* 1年 「進路講演」

11月の進路体験セミナーに続き12月15日(木)、ヴィオーラホールで仏教大学教育学部教授の原清治先生をお招きして進路講演会を実施しました。高校一年生がこの時期に心得ておくべき事、何の為に勉強するのか、等等を様々なたとえで語りかけるように、熱く語っていただきました。1時間足らずの講演会でしたが、生徒達は非常に集中して話を聞いていました。後のHRでの生徒の感想文では「人前で夢を宣言すると夢が近づいてくるという言葉にとっても納得した」「進路を考えるのはまだ早いと思っていたが、これからは少しずつでも自分と向き合って本当にしたいことを見つけていきたい」「私は勉強する意味が時々わからなくなりますが、先生の『将来の夢を叶える経験値をためているんだ』という言葉聞いてなるほどと思い、これから勉強を頑張ろうと決意しました。」などがあり、全体としてとても有意義な講演会でした。

### \* 2年 「卒業生を囲む会」

昨年卒業した63期生を招き、後輩に進学に関する体験を語る「卒業生を囲む会」を2月9日(木)に実施しました。今年は9分野31名が来校し、今の大学生活やどんな勉強をしているのか、進路選択をいつどのように決めたか、受験勉強で苦労したことなど様々な話をしていただきました。また勉強の面だけでなく、大学でのサークル活動の楽しさや、地方出身の学生が多くいて面白い等等、本音の部分も話してもらい、生徒達も真剣に聞き入っていました。忙しい中、後輩の為に時間を割いて参加してくれて卒業生に感謝申し上げます。

## 【生徒指導部】

## 初心忘るべからず

生徒指導部長 若林 満輝

3年生のみなさん、卒業おめでとございます。

1, 2年生は高校入学後、かなりの年月が経ちましたが入学時、希望に胸をふくらませた時の気持ちを今も持ち続けていますか。3年生は4月からそれぞれ新しい環境でのスタートにあたり、同じような希望が湧いてきていますか。

「初心、忘るべからず」という言葉は実は、最初に思ったこと、決心したことはすぐに忘れてしまう人間の忘れっぽさを戒めた言葉ですが、この言葉だけが一人歩きをして、この言葉の後に「その時々初心忘るべからず」とあるの知らない人が多い。

かたくなに最初の決意を実行しようと頑張るのもいいですが、うまくいかないのいつまでもそのことにとらわれて苦しむのは得策ではないと思います。

自分の能力や体力、周囲の状況などを考えて方向転換する勇気も必要ではないかと思えます。新しい道が見えたらその道に進む決断をするのも必要です。親や友人の手前、言い出せないかもわかりませんが、理由を話し、自分の正直な気持ちを理解してもらう事が大切だと思います。ただし、これは十分な反省と理由があつての方向転換でなければならないと思います。

日々の勉強でも、クラブ活動でも何か目標を立てていますか。単語毎日10個覚える、レギュラーになろう、何でもいいと思います。漫然と過ごすのではなく、何か目標を立てて活動すると励みになることが

多い。一つの目標が達成されると、新しい目標が生まれてくるもので、何もしないところから生まれてくるものではありません。プロゴルファーのタイガーウッズ選手は「目標は他人に頼ってはいけません。目標はいつも自分の中から生まれてくるべきなんだ」と話しています。

目標のない人生は、羅針盤のない船みたいなもので、ただ漂うだけで目的地（充実感・幸せ）に到達することはできません。与えられた目標ではなくて、自分で見つけた目標の達成に日々努力していきましょう。

## 【音楽科】 ♪ 主な音楽科行事報告 ♪

・ 2月4日（土） 第149回ピッコロコンチェルティスタ（学内演奏会）

・ 2月7日（火） 特別公開講座「チェロ演奏とレッスン」

講師に山崎伸子氏（チェリスト・東京藝術大学教授）をお迎えし、無伴奏チェロ作品の素晴らしい演奏をお聴かせいただいた後、音楽科生徒2名がレッスンを受講しました。

・ 2月11日（土） 音楽科3年生演奏会

3年間の成長が感じられる演奏を、それぞれが表現力豊かに披露してくれました。皆さんの今後の活躍を期待しています。



・ 2月15日（水） 卒業生に学ぶ（ピアノとフルートの演奏）



63期卒業生の生熊茜さん（ピアノ）、河本朋美さん（フルート）の2人を迎え、現役生徒に向けて演奏を聴かせていただきました。2人は在学中に全日本学生音楽コンクールでそれぞれ全国1位、2位に入賞し、現在は東京藝術大学で研鑽を積んでいます。活躍している身近な先輩の演奏やお話を聴けたことは、在校生にとっても大きな励みとなりました。

～今後の音楽科行事予定～

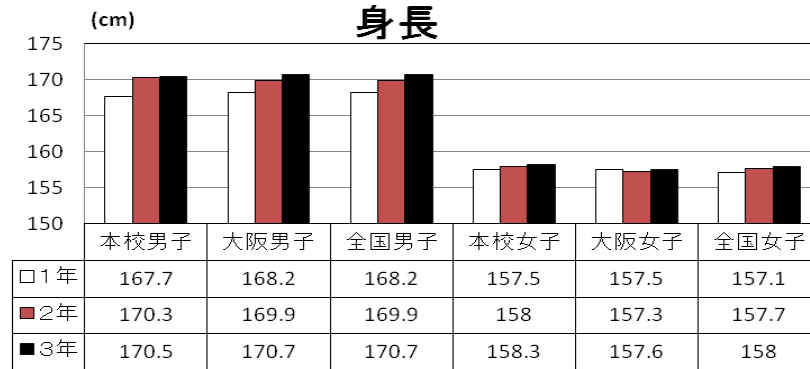
### 有森博 ピアノリサイタル

3月9日（金）14:00～15:00 ヴィオーラホール

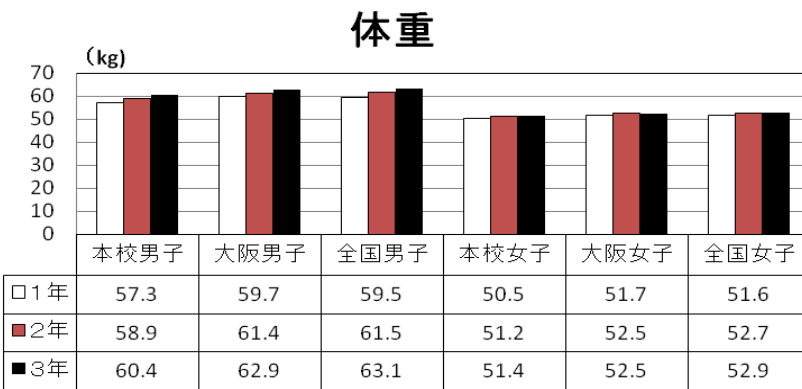
\*皆さまのご来場をお待ちしております

## 【保健部】

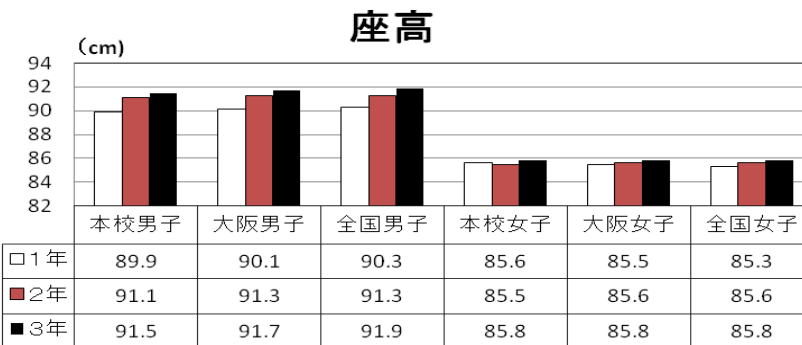
身体計測結果(今年度の平均を比較してみました)



・男女ともに、1年生は、大阪府や全国の平均値のほうがやや高く、2年生は本校が一番高い



・どの学年も平均値が最小  
・最大-2.7kgも差がある。



\*大阪・全国平均と比較して、やせている生徒が多いことがわかります。この数値の差は何を示すのでしょうか？

「あおぞら」より

今年度1年間は、月2回のペースでスクールカウンセラーの福田先生(女性)に来校していただき、教員・生徒・保護者から様々な悩みの相談をさせていただきました。

先生のお話では、不登校に関する悩みがどこの高校でも一番多く、「ある日突然学校に行けなくなった」というケースがよく聞かれるとのこと。本校だけではないようです。

「ある日突然・・・」となる前に、自分で自分の不調について怖がらずに気づくことができる力(パワー)を養ってほしい、とおっしゃっていました。

現在の体調不良は、「心の不調かも・・・？」と思った人！！

話を聞いてくれる人がいますか？もし、思い当たる人がいないのなら、

保健室の、「あおぞら」を訪れる勇気を持って下さい！！

## 【国際交流委員会】

### 留学生からの日本留学中間報告

夕陽丘高等学校に二人の留学生が来てから約五カ月が経ちます。今回の学校通信は二人からの日本留学における中間報告にします。丁君は二月の宮崎研修、クリスタさんは冬季休業中に東京ディズニーランドへ行ったことを2月14日（火）の留学生を囲む昼食会で発表してくれました。その一部を掲載します。

#### \* 1年2組 丁 君

2012年2月4日、日本国際交流基金 日中交流センター“心連心”中国高校生長期招へい事業第六期生のみなさんが各地から宮崎に集まった。

留学生の中間研修を参加しに来た。みなさんが半年ぐらい会わなかったのので、宮崎空港についてから、だれでもうれしかった。

今度の研修のテーマは 食育 と 都市と農村の交流だ。それについて私たちは竹箸づくりとそば打ち体験をやった。その日の昼食は自分で作った箸で自分で作ったそばを食べた。夜はひとつの農家で農業体験して、農家民宿をやった。

ラストの日に、宮崎の有名な観光地 青島（あおしま）に行った。自分が中国の内陸の地方、四川省出身なので、あまり、青島のような素晴らしい景色を見たことがない。今度は、めっちゃ楽しかった。最後にほかの留学生と別れるときは、みんな泣きそうだった。

いまは、中間研修のことが懐かしいと思っている。

丁君は、来日前から日本語は堪能だったのですが、今は大阪独特の表現も修得し、スピーチ時に「めっちゃ」などを使用したとき、夕陽丘の生徒の笑いを誘いました。今回の研修で中国人のガールフレンドができたという話題も大変盛り上がりました。毎晩遅くまで留学生たちと話し込み、最終日は涙に暮れました。大変思い出深い体験になりました。



#### ★ 1年4組 クリスタさん

東京ディズニーランドの調べ学習の一部です。



Tokyo Disneyland is a theme park located in Tokyo Disney Resort. It is one of the four units along Disney Sea, Ikspiari and Bon Voyage.

Tokyo Disneyland was the first theme park by Disney located outside the United States and first opened on April 1983. Since then it has been a noticeable tourist attraction, and gotten rated as the third-most visited theme parks in the whole world, hosting over 13million guests every year.

Because of the large amount of visitors, the park is usually crowded, especially during weekends and holidays. To some attractions you may have to wait a couple of hours to enter. Although it's possible to buy some tickets to certain attractions that allows you to make enter the attraction in less time, however you have to buy the tickets early. With 7 different areas, the park is a mix of different Disney related themes. The icon of Disneyland, the Cinderella castle is probably the most well-known building in the park.

The theme park consists out of 7 different areas with different themes: World Bazaar, Adventureland, Westernland, Fantasyland, Tomorrowland and Critter Country and Mickey's Toontown.

It has attractions with themes ranging from classical stories from Disney such as Cinderella and Pinocchio, to newer productions such as Pirates of the Caribbean.

The park features also parades which are performed for example on holidays. The show changes every 2-5 years.

Because of the large size of the theme park, it consumes a lot of electricity and resources. It's said that the park consumes daily the same amount of electricity used by 57, 000 households.

美しいスライドを作って説明してくれました。クリスタさんはこの他にフィンランドのお正月についても話をしてくれました。その話も素晴らしいので、別の機会を設けて共有したいと思います。

どちらも興味深い発表で、忙しいにも関わらず参加してくれた夕陽丘の生徒たちも二人の発表を楽しみました。二人とも夕陽丘にかなり慣れてきて、特にクリスタさんは日本語の方が相当上達しました。夕陽丘の皆さん、積極的に二人に話しかけてやってください。そして交流を深めてください。

## 【当面の予定】

3月1日(火) 第64回卒業式      3月15日(水) 平成23年度終業式  
〈 入試関連 〉 登校禁止    3月15日(水) 午後1時~16日(木) 18日(日) 全日  
校舎内立ち入り禁止    17日(土) ~23日(金) 10時まで  
3月21日(水) 教科書販売  
4月2日(月) クラス発表      4月9日(月) 始業式 入学式

## 【編集後記】

### 「 卒業証書丸め片目で見える未来 」

あの未曾有の東日本大震災から一年が経とうとしています。この一年、どんなことを考え生活していましたか。先行き不安な日々ですが、若さは何ものにも代え難いエネルギーを持っています。自身で運命を切り開き、64期の卒業生の皆さんが、笑いの絶えない日々を送られることを祈っています。

